

施工に際して

⚠ 保管時の注意

- 商品到着後、中身を確認し速やかにご使用ください。
- 到着後は平坦な場所に横置き保管してください。
縦置きは端部つぶれの原因になりますので避けてください。
- 乱暴に扱わないでください。商品性質上、一度折れると元には戻りません。

⚠ 設置時の注意

- 低温ではシートが硬くなりなじみにくく、接着剤の強度も出にくいので、10℃以上での環境で施工を行ってください。
- 下地基材の不陸が表面に出やすいので、パテ処理を入念に行ってください。^{*1}
ボードの継ぎ目や凹部が大きい場合には、下塗りが必要ですが、表面が平滑の場合には、下塗りを省略できる場合があります。
表面状態をよく確認して作業を進めてください。
- 直射日光のあたる場所、火や熱源のそば、高温多湿になる場所、屋外での使用・保管は避けてください。
変色や変形、剥がれ、マーカーやチョークが消えなくなる等の原因になります。
- ジョイントは突き付け施工が基本です。
厚みがあるため一般的な壁紙と比較してジョイント部分が目立ちます。
また、ジョイント部にマーカーの消しカスやチョークの粉が入り込み、黒くなったり白くなったりする場合があります。
その際は、P35をご参照の上、清掃をお願いします。^{*2}
- 施工後、表面(ホワイトボード・黒板面)に付着した接着剤等の汚れは、完全に拭き取ってください。
汚れが残っていると筆記後消せなくなる場合があります。
- 下記の一覧表は、一般的な下地の状況に応じた参考資料です。
施工に関しては、基材の状態を確認し、できれば試験施工をされる事をおすすめいたします。
各パテ、接着剤等の使用方法については、それぞれのメーカーにお問い合わせください。

*1 お絵描きスクリーンについては、パテ処理をしても、基布(メリヤス)の目が表面に現れることがありますが、下地不良による不陸ではありません。

*2 ホワイトボードマーカー・チョークの選定はP35をご参照ください。

⚠ 下地調整一覧表(参考資料)

調整手順	下地	シナ合板／ラワン合板／MDF ケイカル板／モルタル面 ^{*3}	金属／プラスチック
	◎推奨基材	○施工可能	△1m程度の短尺は可能
前処理	釘・タッカーの猫頭等の処理		サビ・油脂成分・汚れの除去 表面層の確認
パテ処理	上塗り用パテ		仕上げ用パテ
サンディング	#180～#240のサンドペーパーでサンディング		
表面清掃	刷毛、ウエス等にて清掃		アルコール又はラッカー シンナーにて清掃
接着塗工	●酢酸ビニル樹脂+でんぷん系の糊(混合比9:1) ^{*4} ●ローラー塗り(下地側) ●塗布量の目安:100～120g/m ²		●ゴム系速乾接着剤 ●ローラー塗り(下地側) ●塗布量の目安:200～300g/m ²
推奨	●推奨:酢酸ビニル樹脂 プラソールSS (ヤヨイ化学工業(株)) 		●推奨:プラソール速乾マイルド (ヤヨイ化学工業(株)) 

*ヤヨイ化学工業(株)の商品情報は2020.4.1現在のものにて記載しております。

*3 上記の下地はシーラーを全面塗布してください。

*4 接着剤の硬化を遅らせるためでんぷん糊を混ぜ合わせます。施工時の季節や気温、現場の状況により混合比は異なります。使用方法の詳細は接着剤メーカーにお問い合わせください。

⚠ 施工後の注意とメンテナンス

- 施工時の取扱いと残材の保管は、シート表面と端部保護のため立てかけはご遠慮ください。横置きまたは専用段ボール箱に入れてください。
- ホワイトボード・黒板面に表面加工された紙や平滑な紙、印刷物、塗装面等を密着させると、環境条件によって剥がれなくなることがありますのでご注意ください。
- シート面を硬いものでこすったり、鋭利なものでひっかいたりしないでください。表面を傷つけると凹部にマーカーのインクやチョークが入り込み汚れて消えなくなります。
- 日常的な汚れはきれいな布を水で浸し、良く絞り、シート全面を水拭きしてください。次に、乾いたきれいな布でシート全面の水分を完全に拭き取ってください。
- アルコールを使用するメンテナンスは水で薄めて拭き取り、乾いたきれいな布でシート全面の水分を完全に拭き取ってください。
- 表面が滑りやすいため、マグネット付けした物の落下に十分ご注意ください。

【黒板ウォール】

- 新しい黒板の表面は、チョークとなじませることが必要です。(チョークとなじんでいない表面は、チョークの文字が消えにくく残ることがあります)
 1. 白色のチョークを横に寝かせて、表面にチョークの粉をこすりつけます。
 2. 黒板消しで表面全体を一樣に拭いて、チョークの粉を落とします。
 3. 更に一度「水拭き」をすると、滑らかになりやすくなります。

下地の種類のチェック

適さない下地について

- ・湿気を帯びた下地・帯びる可能性のある下地
- ・ALC躯体への直貼りはできません。
- ・RC壁面への直貼りはできません。
- ・塗装面・壁紙面・化粧面への直貼りはできません。

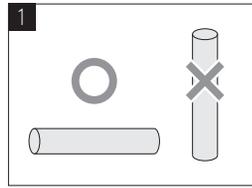
下地調整

- 下地は乾燥面とし、不陸・目違い・凹凸のないことを確認します。
- 下地表面のゴミ・ホコリ・汚れ・水分等、接着を阻害するものは除去します。
- 下地に動きがある場合は十分に固定します。
- 下地に不陸がある場合は、パテで調整し平滑な面をつくってください。

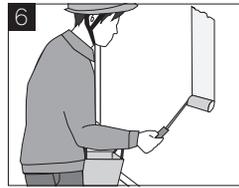
お絵描きウォール／お絵描きスクリーン／黒板ウォール

施工の流れ 例：プラスターボード（石膏ボード）の下地に施工した場合

⚠️ ご注意 ●商品が一般的な壁紙と比べ重いため、施工長1m未満で2人以上、1m以上は3人作業をおすすめします。
 (お絵描きウォール約2.5kg/m²／お絵描きスクリーン約1.6kg/m²／黒板ウォール約2.4kg/m²)

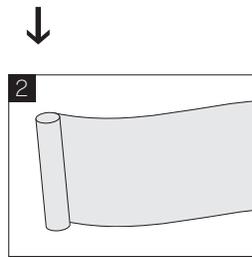


商品の開梱
 届いた商品は横置きしてください。商品到着後は速やかにご使用ください。開梱時は商品に傷がつかないように、カッター・ハサミのご使用時はご注意ください。



接着剤の塗布

糊付け:向こう糊
 下地側に接着剤を刷毛やローラーで全面塗布します。塗布後、5分程度の待ち時間を取り(23℃・屋内)粘着力の高まった状態を確認してから貼付け圧着してください。
 ※適切な待ち時間を取ることで接着力が高まります。乾きすぎると接着力が出ませんのでご注意ください。(施工環境により、待ち時間は変わります)

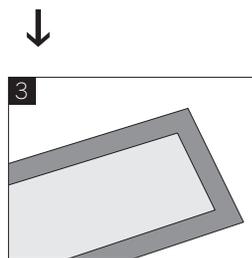


商品確認
 商品に傷等・異常がないか確認してください。
 ※施工中・施工後の傷・へこみ等クレームはお受けできませんのでしっかりと確認してください。

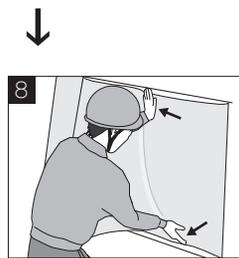


貼付け ①

シートの上端部を仮止めし、上部の基準線に合わせ貼付けます。

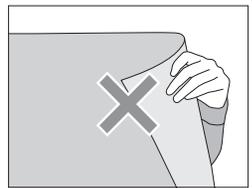


巻きくせをとる
 平坦なところにシート等をひき、商品が汚れないように配慮した上で、慎重にシートを引き出し、巻きくせをとります。

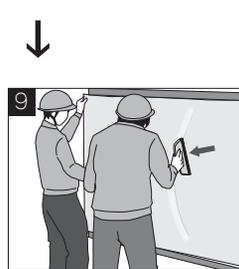


貼付け ②

軽く撫で、空気を外側に追い出すように抜いていきます。
 ※空気が入るとフクレの原因になりますのでご注意ください。

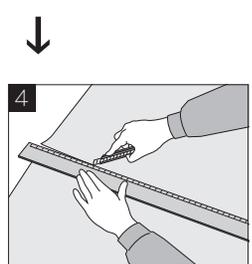


⚠️ ご注意
 へこみ・折れがつくとなおすことができないデリケートな商品です。
 商品を引き出す際には、力まかせに引っ張りださないでください。

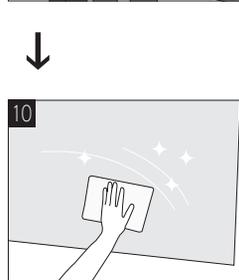


貼付け ③

シートを引っ張りながら、撫でハケ等で壁紙の中央から外側へ空気を完全に抜くように仕上げてください。
 ※ジョイントがある場合は、商品の端部をあらかじめ切り落とすうえで、突き付け施工してください。(一般的な壁紙と比べジョイントが目立ちます。)

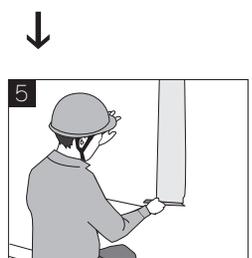


割付け
 貼付ける場所にに応じて製品をカッター・ハサミでカットしてください。
 ※製品幅は端部(耳部分)を含んだ寸法ですので有効幅ではありません。割付けの際はご注意ください。



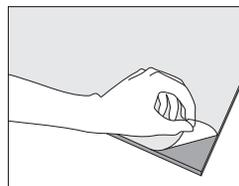
施工完了

付着した汚れ等は完全に拭き取ってください。
 ※特に表面に付着した接着剤は必ず拭き取ってください。



下地の準備 ①

パテ処理:上塗りパテ
 表面状態をよく確認し、凹凸をなくします。表面にツヤがあり、凹凸が目立つため入念に行います。
サンディング
 #180～#240 サンドペーパー



⚠️ ご注意
 黒板ウォールは、商品表面の透明保護フィルムを剥してご使用ください。

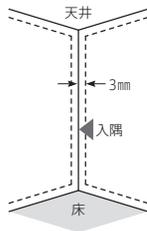
施工の流れ ジョイナー仕上げの場合

ジョイナー仕上げの施工工程

シートの貼付け前に、クイックジョイナーアタッチメントを貼付けてください。
クイックジョイナーアタッチメントの詳しい施工方法については、シンコール壁紙見本帳「ベスト」「ビッグエース」に掲載の施工要領書にてご確認ください。

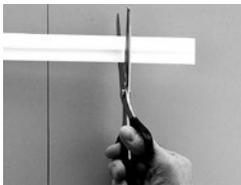
1. 下地調整

パテ処理されている部分はアタッチメント裏側の両面テープの接着力が低下するため、シーラー処理をしてください。



2. 割付け

レイアウト図に基づき、水平・垂直に注意して壁面に墨出しをしてください。
天井、入隅、床に接触する箇所は伸縮が起こることを予測し、あらかじめ3mmほど隙間をあけてください。



3. 切り加工

アタッチメントは、カッター・ハサミで切れます。ジョイナーはカッターで切れます。
ジョイナー表面に擦り傷が付かないよう養生した上で加工してください。



4. 接着剤塗布

アタッチメント裏側の両面テープの離型紙を剥がし両面テープのない部分へ、瞬間または速乾接着剤を塗布してください。

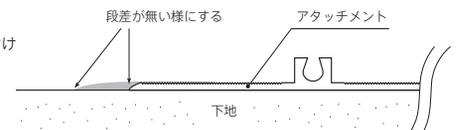
5. アタッチメントの取付け

墨出しラインに沿ってアタッチメントを圧着してください。
天井、入隅、床に接触する箇所は伸縮が起こることを予測し、あらかじめ3mmほど隙間をあけてください。



6. パテ処理 (仕上げ材を貼る前に)

アタッチメントの段差が平滑になるようにパテで埋めます。
※アタッチメント部分にパテを盛りすぎるとジョイナーがうまく取付けできない可能性があります。パテ処理の際はご注意ください。



7. ジョイナーの取付け

当て布をし、アタッチメントにジョイナーをローラー(ゴム)で押さえ込みます。
ジョイナーの表面は傷が付きやすいので、十分にご注意ください。
天井、入隅、床に接触する箇所は伸縮が起こることを予測し、あらかじめ3mmほど隙間をあけてください。
ジョイナーの着脱を繰り返し行うとアタッチメントが浮き、壁紙の浮きやシワが生じます。ご注意ください。
ジョイナーを固定する場合は瞬間または速乾接着剤をアタッチメントの溝に入れ、ジョイナーと接着してください。